

特集

神石高原町

の財政は今…

神高さんちのある日の会話より

はじめに

平成16年11月5日、皆さんの夢と希望をもって神石高原町は誕生しました。誰もが明るい未来とすばらしい町政を期待した船出でした。

しかし、実際は大変厳しい財政状況となっており、地域住民の皆さまのご期待とご要望に十分お応えできておりません。

町の財政は、歳入の柱である「地方交付税」が平成11年度をピークに減少の一途をたどっており、一方歳出では福祉のための「扶助費」や地方債の償還である「公債費」が年々増加しています。このため、道路や施設等の整備費である「投資的経費」を大幅に削減させざるを得ない状況にあります。

現在町では、「行財政改革大綱」、「行財政改革集中改革プラン」、更に「神石高原町公債費負担適正化計画」を基本として数々の行財政改革に取り組んでいます。歳出抑制額を上回る歳入削減となっており、国や県の動向、少子高齢化・過疎化が進んでいる本町の状況からも、今後益々厳しい財政状況となることは十分ご想像いただけると思います。

このため、より一層の歳出削減と行財政改革の断行が急務となっており、継続的かつ安定的な財政運営には、住民の皆さまのご理解とご協力が必要不可欠であります。

町の非常に厳しい財政状況を少しでもご理解頂きたいと思い、町の財政を「神高さんちの家計簿」に例えてみました。

神高さんちのある日の会話

ここでは、神石高原町の財政状況を年収400万円の、とある家庭の家計に例えて説明します。

神高さんちの収入

最近、お父さんの給料の額が少なくなってきたわね。

でも、それ以上におじいちゃんからの仕送りがどんどん減ってきていて大変だわ。

そうなんだ。うちの会社はなかなか儲からなくて、給料がと

ても少ないんだよ。だからおじいちゃんから仕送りをもらってるんだけど、おじいちゃんのところもなかなか大変。それで、年々仕送りの額が減ってきてるんだ。

※1 自主財源と依存財源

神石高原町では、各家庭でいわゆる給料等にあたる自ら稼ぐお金（これを自主財源といいます。）が約16億4千万円程度と歳入の約15・6%しかありません。このことは1年間のうち自分の力で生活できるのはわずか67日間だけということになります。

その他の多くを、補助金や地方交付税などのように国や県に頼っているお金（これを依存財源といいます。）と銀行等からの借入れによってやっと生活しているのです。

※2 地方交付税等の推移

歳入の最も多くを占めるのが約58億2千万円、率にして53・4%と過半数を占めている地方交付税です。基本的に使途に制限が無いため神石高原町独自の施策や事業へも使うことができます。日本中どこに住んでもほぼ同じ程度の行政サービスを受けることが出来るよう国から一定基準により各地方公共団体へ交付されています。

本町においては、この地方交付税が平成11年度をピークに減少の一途をたどっており、平成19年度では平成11年度に比較して実に16億7千万円、率にして23・4%程度減額される見込みとなっています。

地方交付税及び臨時財政対策債の推移



※平成19年度特別交付税については予算措置による見込み数値です。



お父さんの給料はいいじゃないの？



確か、給料（地方税）が1年間に29万5千円しかないのよ。あと諸手当やお母さんのパート代（分・負担金、使用料、手数料等）が16万8千円、貯金の取り崩しやへそくり（繰入金・繰越金）が16万1千円、全部足してもわずか62万4千円なのよ。……

※1

いかに大変なのかわかるでしょ。



えー。1年間で400万円必要なのにお父さん達の給料やパート代は62万4千円しかないの〜！そんなじゃ生活できないよ。



そつなんだ。だからおじいちゃん（国、県）から仕送り（普通交付税及び国県補助金等）を291万5千円もらったんだけど、それでも足りないんで銀行から46万1千円も借りたんだ。

つまり我が家の家計はおじいちゃんからの仕送りと借金に頼ってるんだよ。



お父さんの給料が29万5千円しかないのに銀行から46万1千円も借りちゃったの？

でも仕送りや貯金があるなら少しは安心だね。よかった。



そつでもないんだよ。さつきも言ったようにおじいちゃんのところもお金がなくて大変だから毎年節約している以上にとんとん仕送りの額が減ってきてるんだ。……※2

貯金（財政調整基金及び減債基金）だって残りはおと65万7千円しかないから、このまま生活費で取り崩しちゃうとあと2〜3年で貯金もなくなってしまうそつなんだ。

お父さんの給料も業績不振（人口減少等）で益々減ってるだろうから、今後益々家計は火の車になりそつなんだよ。



えー！そつなの？それはとても大変だ。それじゃ今のうちからお金の使いみちをもっととっと真剣に考えなきゃ。

でも、ちよつと待って。お父さんやお母さんはいつもお金がないっていういろと節約してるし、僕も欲しいおもちやを我慢してる。毎日ご馳走を食べるわけでもないのにこつとして400万円もかかっちゃうのかな？

神高さんち



太郎くん



お父さん



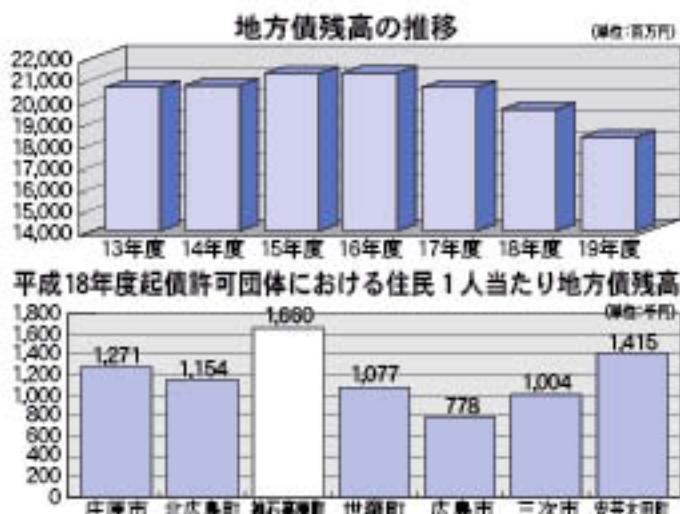
お母さん

※3 地方債の残高

神石高原町では、平成17年度末において借入残高が約206億円、住民一人当たり実におよそ170万円余りの借金を背負っています。これは広島県内で最も高い金額となっています。

現在、この借入残高の削減を最重要課題として取り組んでおり、平成18年度末において約196億円、平成19年度末では183億円程度まで削減する予定です。

また、本町は歳出全体に占める借入金返済額の割合が高いため、平成17年度決算により財政健全度評価（起債許可団体）となりました。平成18年度決算においては更に1・2ポイント悪化しており、益々財政の硬直化を招いています。



そうね。それには何にとれくら
いお金がかかっているのか知る
必要があるわね。我が家の家計簿はど
うなっていたかしら...

神高さんちの支出

我が家が1年間暮らしていくに
はどうしても必要で、なかなか
減らせない支出がとて沢山あるの。
具体的には食費(人件費)に67万1千円、
教育費や医療費(扶助費)が14万5千
円、光熱水費(物件費)が48万9千円、
家の修繕費(維持補修費)が2万3千円、
それにサークル活動や町内会等の会費
(補助費等)に40万1千円もかかったわ。
そして何より金額の大きいのが、以
前銀行から借り入れたローンの返済金
で97万2千円もかかっているの。これが
どうしても必要なお金のよ。

その他に、仕送り(繰出金)に40万
3千円、テレビの購入やお部屋の改装
(投資的経費)に64万円使ったけど、
わずかながら14万3千円貯金もでき
たわ。合計で3、887千円ってところ
かしら。

それじゃ、11万3千円の黒字だ
ね。よかった。よかった。これ
で新しいゲーム機を買ってほしいんだ
けど。

それは見た目だけの話よ。実際
は貯金を取り崩して収支を合わ
せてるし、新たな借金もしてるのはさっ
きも言ったとおりよ。

それに、少しながら貯金ができたら
は、おじいちゃんからの特別な援助(合
併に伴う補助金及び交付金)があった
ためだったんだけど、その援助もそう
終わりのなの。

がっくり。そうだったんだ。

これからの家計はもっと大変
なのよ。給料や仕送りは減らさ
れそうだし、貯金も少ないし。何より
大変なのは、我が家の借金なの。さっ
きも言ったけど借金の返済に家計の
4分の1もの額が必要だし、残高がま
だ74万5千円も残っているの。全部
返すにはお父さんの給料だけだと25年
以上かかっちゃうのよ。仕送り先(特
別会計)にも借金があるからその返済
にまだまだ多くのお金が必要なのよ。
.....※3

そうか。お父さんの給料やおじ
いちゃんからの仕送りがごんど
ん減ってきてるけど、どうしても必要
なお金はなかなか減らせないのか。

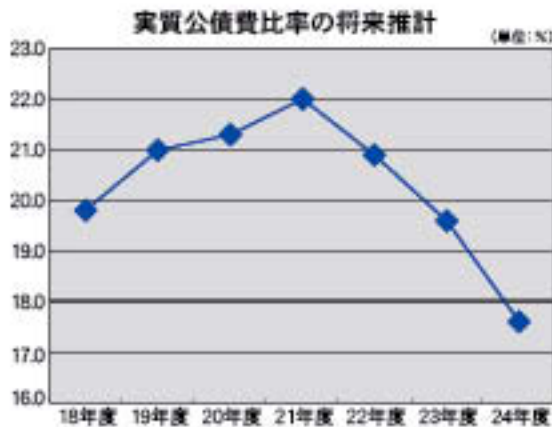
※4 公債費負担適正化計画

神石高原町では毎年多額の償還をしていきますが、この公債費の負担をできるだけ軽減するため、昨年度「神石高原町公債費負担適正化計画」を策定しました。

この計画により、新たな借り入れに対しては限度額を設定して、これ以上できるだけ借金を増やさないようにしています。

このため、新たな借金を伴う事業を行う場合には、真に必要なかつ早急な整備が必要かどうか、国や県等の補助金が確保できるかなど総合的に判断して、慎重に対処することとしています。

新規事業や大規模な事業については見直しをしたり、後年度に繰り延べたりしながら、平成24年度には財政信号団体の指定基準値18%を下回るように財政運営を進めています。



神石高原町公債費負担適正化計画抜粋

そうなのよ。だからこれからはもっともっとと生活を切り詰めないためだと思つたの。今の生活をできるだけ維持しながら節約できるところを見つけているため、みんなでもっと知恵を絞ってほしいのよ。

うくん。一番の問題はやはり借金の額が多すぎることだね。毎年の返済額をなんとか減らさないとやっていけないや。とりあえず、借金で購入するものは必要最低限なものだけにしようよ。それも本当に必要なものかどうかよく考えてから。…※4

やはり日頃の節約が大事だと思つたよ。借金に追われて雨漏り(災害復旧)の修繕すらできなくなつては大変だし。日頃から節約意識をもつことや、工夫して光熱水費や食費を抑えたり、できるだけ家や庭の修繕を見直したりして着実に支出を抑えることが地味だけど唯一確実な方法だね。

うん。そうだね。この家に住んでよかったとみんなに思ってもらえるように、お父さんはもっともつとがんばるから、みんなで知恵を出し合って協力してがんばろうね。

おわりに

会話に出てくる給料や食費などの金額は、平成18年度財政状況調査による決算数値を用いています。実際の家庭における家計簿とは多少しかけ離れているかもしれません。町の財政を各ご家庭の家計簿に例えることはいささか無理があるのかもしれませんが、何十億円という桁数で説明するよりも、より身近な金額、普段の生活における金額で説明するほうが少しでもわかりやすく、ご理解いただけるのではないかと思います。

住民の皆さまに少しでも町の財政状況に関心を持って頂き、ご理解いただくための一助となれば幸いです。

※この対話する神島さん一家は架空の家庭です。

神石高原町総務課行財政係

〒720-0152
 広島県神石郡神石高原町小島2025番地
 TEL: (0847) 891-3330
 FAX: (0847) 851-3394
 Mail: jk-sounu@town.jinsei.kgo.gen.hiroshima.jp